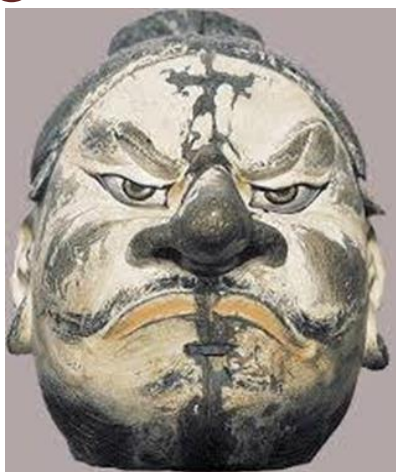


# 我孫子の文化を守る会 放談くらぶ

我孫子通行記—誰がいつどこへ何のために—

当会元会長 三谷和夫



エミシの首長アテルイ



八幡太郎 源義家



源 頼朝

講話の概略・・・古代の東海道は京都から関東へ通じ、我孫子を通って石岡までいく大幹線道路でした。いろいろの人たちが戦争や諸役のために我孫子を通りました。さまざまな伝承が残っています。あまり知られていない人も掘り起し、我孫子がどんな所だったのか、もう一度考えてみましょう。

ヤマトタケルは我孫子の柴崎神社や天照神社へ来た。若き弘法大師は湖北に寺を建てた。坂上田村麻呂はエミシの頭アテルイを連れて通る。平家の祖平高望は沿岸に不動尊像をまつる。平将門と藤原秀郷は我孫子で何をしたか。八幡太郎義家は我孫子に何を残したか。それから源頼朝、水戸光圀、伊達重村(仙台藩主)、参勤交代の大名・家中たち、明治天皇などなど。

日時 : 6月4日(日) 午後2時~4時

場所 : けやきプラザ 8階 第1会議室

参加費 : 300円 (会員無料)

【申込】佐々木 (TEL/FAX 7185-0675) まで《先着40名》